

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表	
事業所名	てらびあほけっと館林教室
公表日	令和6年 11月 20日
利用児童数	41人
回収数	37人 90%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	37	0	0	0	集団と個別とで活動できるスペースが十分ある。	スペースはフロア(約20畳)と個室4つを確保してあります。フロアでは集団活動と遊び、個室では個別プログラムを行えるように、環境作りをしています。	
	2 職員の数等は適切であると思いますか。	37	0	0	0	手厚く見てもらっている。いつも複数の先生たちがいて安心している。玄関に職員の写真が貼ってあり、名前や資格も分かりやすく安心できる。	常勤が7人、そのうち指導員は6人います。常に5~6人の職員が出動していますので、基準人数以上の配置をしています。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	37	0	0	0	分かりやすく整備されていると感じている。	お子様の動線を考えて環境配面になっています。個別で使う部屋には、お子様の顔写真をドアに貼っておくことで、自分がどの部屋で行うかを理解できるようにしています。混乱なく、見通しをてるような配慮をしています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	37	0	0	0	掃除が行き届いていて、いつもきれいな状態です。	空気清浄機を使用し、毎日掃除をしています。今後も清潔な衛生面も気を付けていきます。	
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に合った専門性のある支援が受けられていると思いますか。	37	0	0	0	課題があるときに支援の中に入れてくれるので、ありがたい。	支援計画に記載されていない内容でも課題が見つかったときは、すくに対応しています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	36	0	0	1	細かく提示してくれるのでわかりやすい。実際の支援でもすぐに行われているので合っていると思う。内容が少し簡単すぎると思うことがあるのでよくわからない。	今後も丁寧に対応し、お子様の支援に合ったプログラムを提供していきます。	
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	35	2	0	0	契約時、モニタリングで話をしっかりとヒヤリングしてくれて、困りごとを含めて作成してくれるので感謝している。毎回時間をかけて協力を聞いてくれて支援方法を考えてくれる。	今後もお子様、保護者様に寄り添いながら、的確に課題を見つ支援していきます。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援が「トータル」児童発達支援の提供(本人支援)、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	36	0	0	1	児童発達支援から具体的な支援を色々提案してくれるので勉強になる。療育の様子を見学する機会を増やしてほしい。	現在もご要望があればいつでもご参加できます。保護者様への周知をしていきます。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	36	1	0	0	すぐに支援に取り行われていく。支援計画には記載されているが、実際の個別支援では不十分だと感じられる内容がある。	児童発達支援を中心に個々の支援を直し、適切な支援を提供できるように努めていきます。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	3	0	1	現状の様子や興味があることを盛り込んでくれる。夏にプールを実施したり、個別で友達と一緒に療育をしたりと、固定化されない工夫がある。	月に1度の小集団での製作活動、夏場のプール、個室でのソーシャルセラピー、その他にもお子様が楽しめるように工夫しています。今後も固定化しないよう努めていきます。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。				37		要望をしていないので、園等で交流できれば良いと思う。	現在は交流する場を設けていませんが、要望があれば検討していきます。
	保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37	0	0	0	分かりやすく説明を受けました。	今後も丁寧に説明をしていきます。
		13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35	1	0	1	モニタリング時にある程度確認して説明を受けている。支援計画書の内容については理解できている。	今後も丁寧にモニタリングを進め、お子様の課題に沿った計画書に作成していきます。
		14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が行われていますか。	35	1	0	1	家族支援を通して勉強になった。質問をすると毎回丁寧に返してくれる。毎月参加させてもらっている。	月に数回の動画視聴等を行っています。市からの研修、講演のご案内はしていますが教室での研修についてはしておりません。要望を踏まえて検討していきます。
		15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	35	2	0	0	LINEでの写真、連絡帳で様子がよく伝わり楽しみで見ている。送迎時にLINEでも伝え、要望に応じて面談してくれる。	今後もお子様の様子を情報共有しながら、支援をしていきます。
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		33	4	0	0	要望をすると、LINEや直接の相談等すぐに対応してくれる。管理者から個別に連絡があり気にかけてくれるので相談しやすい。課題について日頃の様子から分からない。	セラピーノートの書き方を工夫したり、送迎時にお伝えしたりする等、保護者様へ明確に伝えるよう改善していきます。	
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。		35	2	0	0	いつも笑顔で対応し、子どものことも可愛がってくれるので嬉しい。	支援についても児童発達から個々に指示を出し職員間で共有しています。支援が偏らないよう、また継続できるよう今後も努めていきます。	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。		25	10	0	2	なかなか都合がつかず参加できない。参加したことがないので、次回は都合を付けて参加してみたい。	年に数回保護者交流会を行いました。交流会を兼ねて子ども保護者様との知り合いも増え、和やかな場になっています。今後も機会を作っていきます。	
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか。		35	1	0	1	申し入れると迅速に対応し、相談時間を作ってくれて面談してもらえる。	今後も迅速、適切に対応していきます。また相談できる職員を育成し、ニーズに応えられるよう努めます。	
20 子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。		36	1	0	0	毎回、送迎時や連絡帳、LINEでの写真等で様子を知ることができる。	意思疎通を大切にしながら、療育を進めていきます。	
非常時 等の 対応	21 定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	36	0	0	1	毎月の通信を楽しみにしている。2階の放課後等デイサービスの通信もいただけて、事業所としてどんな活動をしているのかが分かり、楽しみに読んでいる。インスタの更新をしてほしい。	毎月2つの事業所から出ている通信を配信しています。児童発達支援と放課後等デイサービスの情報を伝えられるよう努めています。	
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36	0	0	1	通信に載せる顔等、マークを付けて配慮してくれている。	書類は鍵のかかる書庫に保管し、写真等は本人が特定できないよう配慮しています。	
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	36	0	0	1	作成し、職員が訓練しているのは知っていますが、子どもが訓練に参加しているかどうかは分からない。感染症グッズ等、常に置いている。	各マニュアルは作成済みです。避難訓練の時間により、参加できないお子様もいます。できるだけ多くのお子様に参加できるように時間を調整していきます。	
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	36	0	0	1	実際に見たことはないが、通信に写真等が掲載されているのでしていると思う。	毎月職員は訓練をしています。消防署とのやりとりをしながら行う総合避難訓練も年に2回しています。	
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	36	0	0	1	安全面には留意してくれているので、安心している。	管理者が定期的に室内、室外を点検しています。安全面について職員全員で共有し、日頃から意識しながら改善すべきところがあります。	
	26 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	37	0	0	0	小さなことでも必ず報告してくれるので安心している。	どんな小さなことでも必ず管理者の報告がいき、適切な対応をしています。また、保護者様にも必ずお伝えしています。教室に来た通の姿で保護者様に引き渡すことを遵守しています。	
	満足 度	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	35	2	0	0	お昼飯のあと等はずきずきしてしまふ。療育や体罰で行き渋りがあるが、行ってしまふと帰りは笑顔になる。	体調や園行事等、お子様の様子を把握、考慮しながら、楽しく過ごせるように努めていきます。
		28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	35	2	0	0	毎回とても楽しみにしている。駐車場に着くとニコニコしている。通所日を持ち帰る子がみられる。幼稚園よりも楽しみにしている。気分がいいやと言うこともあるが、結局帰りは帰りたいなと言うので楽しんで通所していると思う。	楽しく学べるように、今後も環境や支援内容について工夫していきます。
		29 事業所の支援に満足していますか。	36	1	0	0	成長していく姿を感じている。できることがすごく増えた。家庭や仕事での悩みも聞いてくれるのでとても信頼している。	お子様を含むご家族の支援についても、継続して行っています。ご利用して下さるすべての方が、満足いただけるよう尽力していきます。

事業所における自己評価結果						
公表	令和6年 11月 20日					
事業所名	てらびあぼけつと館林教室					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・リズムウオークの際、できるだけ広く安全にできるように子供用の椅子は一度個室へしまうようにしている。	・今後も継続していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・職員1人当たりの子どもは最大2人(ソーシャルセラビー)としているので、無理なく療育が進められている。	・職員欠勤時も十分な人員確保ができるように配置をしていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・フロアの真ん中にある大きなホワイトボードに「クールの流れ」が文字とイラストで掲示されている。子どもの実態に応じては、個別にやることリストやシールシートを作成し、提示している。 ・段差のないフラットな床である。	・保護者様様に職員の名前と顔が分かるように、玄関に掲示している。新しく入った職員の顔写真を載せるのが遅くなってしまったので、早めに掲示する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・毎日全部屋、掃除機と水拭きをしている。 ・来所した子どもたちは、手洗いと消毒、検温を徹底しており、記録もしている。	・今後も継続していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・必要に応じて個室を利用している。職員間で情報共有しながら進めている。	・今後も継続していく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	・毎日の振り返りだけでなく、毎月の職員会議でも個人の月目標、教室としての月目標を設定している。	・今後も継続していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・アンケートの実施はもろもろのこと、日々保護者様との会話の中や相談等でキャッチした意見や困りごとは迅速に対応している。	・今後も継続していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・日々の終礼や職員会議で、職員同士の意見交換の場を設けている。そして管理者へ相談、報告し業務改善につなげている。	・職員が相談しやすい環境、雰囲気作りにも今後も努めていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	・特に外部評価を行っていない。県や市は、相談をしたり、必要な連絡等でやりとりをしている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・メンター研修(若手)、キャリア研修(ベテラン)、年末全体研修、緊急対応研修などを実施している。	・今後も研修の機会を作り、職員の質の向上に努める。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・支援プログラムは作成中である。	・45名と人数が多いが、できるだけ早く完成させ公表していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	・個別支援と小集団活動を軸としてやっている療育の教室なので、来所したら毎回必ずどちらもやっている。	・今後も継続していく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・児発管OUTが2名いるので、本児発管と共に検討しながら支援計画を作成している。また、原案が作成出来たら職員全員でカンファレンスを行い、意見を取り入れている。	・今後も継続していく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・児発管によって子ども一人一人の支援計画にそった「指示書」が作成され、指導員はそれをもとにプログラムを立てて療育をしている。	・今後も継続していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	・ABC分析シートや行動分析シートを活用し、子どもの行動を把握している。	・今後も継続、活用していく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・5領域を取り入れ、より子どもの実態を細かく把握するようにしている。また、保護者様のお聞き取りも丁寧に行うことで、保護者様の思いや願いも大切にしている。	・今後も必要な項目を選択、設定していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・カンファレンスを丁寧に実施している。 ・会議や朝礼、研修等でプログラムについて話し合いが行われている。	・今後も継続していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・支援計画を振り返ったり、子ども達の反応や実態を観察したりして、いろいろなプログラムが行われている。	・今後も継続していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・個別支援と小集団活動を軸としてやっている療育の教室なので、来所したら毎回必ずどちらもやっている。	・今後も継続していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・毎日朝礼を実施している。その日の予定や注意事項、子どもに関する打合せも行っている。	・今後も継続していく。
21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・終礼では振り返りの中でその日に担当した子どもの様子や内容を共有している。	・今後も継続していく。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・セラビーノートにその日の療育内容や様子を書き、保護者様へも共有している。また、「赤ファイル」を活用し、子ども一人ひとりに対してプログラムのチェックをつけている。	・今後も継続していく。	
23	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・半年に一度、保護者様様に教室へ来所していただき、必ず実施している。	・今後も継続していく。	

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・管理者兼児発管が参画している。	・今後も適切な担当者が参画していく。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・相談事業所、園、小学校、教育委員会など必要があれば連携を移行支援を実施している。	・今後も保護者様様のご希望にこたえ、関係機関での連携がもてるようにする。	
	26	併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・相談事業所、園、小学校、教育委員会など必要があれば連携を移行支援を実施している。	・今後も保護者様様のご希望にこたえ、関係機関での連携がもてるようにする。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・実施している。	・学校からの要望があれば、保護者様の許可を得てから積極的に支援内容についての情報を共有していく。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
	29	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	30	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	31	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	0	・併用してお子様がいる場合、保護者様からの要望や許可を前提に連携を取っている。	・要望や必要に応じて保護者様様にご提案する。積極的に連携をもっていく。	
保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	・療育の内容上、園などの交流する機会は無い。	・保護者様様からの要望があったときは前向きに検討していく。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・セラピーノートだけでなく、LINEや電話、面談を通して保護者様とお子様の様子について共有したり、相談したりしている。	・保護者様様から発信がなかった場合はこちらから声をかけて話しやすい雰囲気を作るように心がけている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	・動画視聴(本部からのセラピー動画)と通して、お子様との関わり方やセラピーの基本的な内容、就学に向けてなど家族支援を行っている。 ・管理者兼児発管による相談においてもベアト	・今後も丁寧に支援を行っていく。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約時に説明している。分からないところがないか途中で声掛けをしたり、保護者様様の反応をよく観察したりしながら進めている。	・今後も継続していく。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・モニタリングで丁寧に聞き取りを行い、その場でおおまかな目標を一緒に決めるようにしている。	・今後も継続していく。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	・支援計画が作成出来たら、保護者様へ確認していただき、修正点や質問があるかを聞いている。最後にサインをいただく。	・今後も継続していく。	
	38	定期的な、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・管理者兼児発管が相談依頼が来るので、適切に応じ援助と支援を行っている。	・今後も保護者様様の支援に努めていく。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	・保護者様会を開いている。保護者様様の負担になりにすぎないように、希望制にしている。	・保護者様交流会については好評だったので、次回の計画をしたい。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・相談や申し入れがあった場合は、すぐに管理者へ報告をし、管理者から職員へ指示をおおすようになっている。また、保護者様様に対しては管理者が適切かつ迅速に対応している。	・去年からの継続になりますが、管理者兼児発管と同等の知識をもつ人材を育成し、相談業務にあたっていけるように努めていく。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・毎月「らびあ通信」を発行し、全員に配付している。	・楽しみにしてくれている保護者様様のために今後も継続していきます。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・職員には入職の際に誓約書を書いてもらっている。また、日々の個人情報取り扱いに関して一人ひとり最新の注意を払っている。	・今後の厳重に管理、取り扱いをしていく。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・子ども達に関しては、視覚支援を行ったり環境作りを意識したりしている。	・意思疎通や情報伝達に不備があった場合は、すみやかに対処します。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	・2時間ずつのクールで療育を行っている教室なので行事を行うことが難しい。	・ボランティア活動を希望する方がいたので、個人情報に配慮しながら積極的に受け入れてきた。開かれた事業所を目指します。	
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・マニュアルは策定してあります。発生を予想して、避難訓練や不審者対応訓練等を実施した。	・非常時の準備等を含め、今後も訓練を実施していきます。
		46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・非常災害に備えて、非常食や飲み物を準備してある。トイレには水を入れたペットボトルを準備し、断水にも備えている。	・消防署と連携を取りながら訓練を実施しています。2階の放デイと合同で訓練を行っていきます。
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・契約時に保護者様からお聞き取りをしている。保護者様様と対応方法を共有し、万全な体制を整えている。	・お子様の状況で変化があったときは、すぐに連絡をいただくように保護者様様に再度お願いをしている。 ・事業所内に准看護師の資格をもった者がいる。緊急時はその職員を中心に対応することになっている。	
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・基本的に食事はしないので、対応することはない。	・お菓子などを食べる状況になったとき、事前に保護者様に確認し、適切に対応していく。	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・研修を実施している。知識だけでなく、実際に動けるかローリルレイも実施している。	・日々、環境に意識をして危険な場所はないか、壊れているものはないかを環境担当中心にこれからも注意して見ていく。	
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	・契約時に緊急連絡先等の情報をいただいている。もしも時の流れについても説明させていただいている。	・万が一の事態に迅速に対応できるように、定期的に保護者様へ流れをお伝えするようにしたい。	
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・毎月各自がケラレミス記入して管理者に提出する。事業所内で共有したほうがよい事例は、終りで報告して周知している。	・一人一人の意識が高まるように、各自記入している。事業所全体のミスが減るように努めていく。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・年に1回不適切な対応についてのアンケートを実施している。 ・虐待についての認識の研修を管理者主導のものを行っている。	・今後も意識をもってお子様の療育に取り組めるように研修等を継続していく。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	・拘束は行っていません。拘束が必要なお子様もいません。	・今後必要があるときは、保護者様様と相談をして方法を一緒に考えていく。		

事業所における自己評価総括表			
公表	令和6年 11月 20日		
○事業所名	てらびあぼけっと館林教室		
○保護者評価実施期間	令和6年 9月 2日		～ 令和6年 9月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 41名	(回答者数)	37名
○従業者評価実施期間	令和6年 9月 2日		～ 令和6年 9月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 11月 18日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者支援	話しやすい雰囲気作り、声掛け	・保護者との信頼関係構築 ・相談の仕方、話し方の研修
2	療育内容(ABA)	個別、小集団、ソーシャルセラピーの強化	・DTTプログラムの研修 ・療育内容の研修(セラピー研修) ・ソーシャルセラピーの充実
3	外部との連携	積極的な園訪問、相談事業所との共同モニタリング、教育委員会との就学連携	今後も積極的に連携をしていく。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者交流会や保護者間の連携	毎年2回くらい保護者交流会を実施している。	・利用人数が多いので、何回かに分けて交流できる場を作っていきたい。
2	障害のない子ども達と関わる機会がない	療育の内容上、園などと交流する機会がない	・保護者からの要望があった時は前向きに検討していきたい。
3	代表以外の保護者対応	経験や知識不足	職員育成にさらに力を入れていく。